

2018年度東大阪市自立支援協議会意見交換会 くらし部会からの報告

1. 「移動支援ガイドライン、Q & A」の発行、「重訪病院内利用と入院時コミュニケーション支援について」の整理、ウェブ上への公開、「障害福祉サービス支給決定ガイドライン」の編集（年度内に公開予定）・・・サービス利用を進めるための共有の公開された「ものさし」ができた。

「計画相談の時代に当事者、相談支援、行政に共有された公開のサービス利用ガイドラインが必要」と過去数年間にわたって訴え続けてきたことが、認定給付課の努力で実を結んだ。

内容的には課題もあるが、ほぼ全てのサービス利用について共通の基準ができたことを評価したい。また、細部では「くらし部会」からの働きかけで踏み込んだ認識を示してもらえた部分も多い。

同時に、この内容が関係者の隅々にまで徹底され、理解され、利用され、磨かれていく必要がある。そのためそれぞれの文書の「年次更新システム」を作っていく必要があり、「くらし部会」としてその柱になっていきたい。

2. 高齢福祉との連携を目指す「ケアマネ連絡会」との第一回交流会を開催し、問題意識整理の一步を踏み出した。継続開催を目指すとともに、次年度は「くらし部会」のメンバーとして高齢福祉関係からの増員を検討する。

「ケアマネ交流会」は65歳問題、8050問題、「共生サービス」等、様々な論点を巡って活発な意見交換の場となり、今後の交流に向けた論点の整理は進んだ。継続開催への手掛かりはしっかり作れた。

同時に問題意識交流だけではなく実際の施策についても反映されていくような論議に発展させていくために「くらし部会」に地域包括（社協から？）からのメンバー増員を働きかける。

3. 「ポスト放デイ」対策は緊急に求められている課題である。今年度から論議は始めたが財政協議との関係もあって有効な方策は打ち出せていない。「日中一時支援」の規制緩和と制度設計の見直しを進める。

実態調査、ニーズの現場からの意見集約等、緊急対策の必要性を明確にする資料収集を強める。また、近隣他市の状況把握、堺市のトワイライトサービスの調査等を踏まえ、具体的な施策を提案していく。

4. 「入院時コミュニケーション支援」の周知を兼ねて、二か所で病院看護師、ソーシャルワーカーとの交流会を持った。引き続き対象病院を広げて実施していくことで「コミュニケーション支援」以降の医療福祉連携の課題を抽出していく。

5. 「医療的ケア」について、「くらし部会」としては何も論議ができなかった。児の動きともタイアップしながら論議の場作りを進める。児の動きがなかったとしても、最低、関係者交流会を開催して今後の方向性を整理する。